

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援てらこやキッズクラブ3		
○保護者評価実施期間	令和6年 12月 15日		～ 令和7年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	46	(回答者数) 43
○従業者評価実施期間	令和7年 1月 1日		～ 令和7年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 3
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 2月 1日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	作業療法士による個別療育や集団療育を行い、発達段階に合わせて社会生活が送りがやすくなるように支援を行っています。	・子どもの行動分析や検査を行い、発達段階を把握を行います。 ・保護者様の希望と発達段階に合わせた活動を選択し、「できた」という経験ができるよう支援を行っています。 ・保護者様の困り事への対応方法や補助具の作成・選択などのアドバイスをを行います。	・多い困り事のテーマについてお話をしたり、質問に直接答える機会を確保していく。 ・日頃から保護者様が気兼ねなく連携が取りやすくなるような対応方法について検討する。
2	土曜日や長期休暇中を中心に行事、クッキング、お出掛け等のイベントを計画し、様々な体験が出来るようにしている。	・内容が偏らないように計画している。近隣のイベント情報を調べ参加出来るようにしたり子ども達や保護者へ積極的な参加を呼び掛けている。	・地域のイベントに積極的に参加する。
3	スープリュームビジョン、ボルタリング、広いプレイルーム等、設備が充実している。	・ビジョントレーニングは定期的に行い記録をとることで成長の様子が分かる。	・今後も活用継続していく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域や児童館等の交流がない。	・児童の実態から難しい点が多い。(ケガをさせてしまう可能性等)	・安全に活動できる児童だけでも交流させられないか、または児童館等から数名だけ交流に来てもらえないか等検討していく。
2	保護者へのプログラムや保護者間での交流できる場が少ない。	・以前は行っていたイベントがコロナで出来なくなり以後行っていない。	・取り組みをしているクラスもあるので情報共有しながら、他のクラスでも行っていく。(参観日、交流会等)
3	第三者からの外部評価がない	・良くも悪くも偏った業務になってしまっている。	・公開日を設定するなど地域だけではなく、一般の人にも知ってもらえる機会を設ける。